

防府市国民健康保険第二期データヘルス計画
兼 第三期特定健康診査等実施計画
中間評価

令和3年3月

防府市

目次

I	保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項	
1	概要	1
2	中間評価の目的と方法	2
II	防府市の現状分析	
1	基本情報	3
2	医療費の状況	6
3	介護保険の状況	12
4	死因の状況	14
5	特定健康診査及び特定保健指導の実施状況	16
6	人間ドック利用助成事業	21
7	糖尿病性腎症重症化予防事業	22
8	保健衛生普及事業	23
III	第二期データヘルス計画の中間評価	
	データヘルス計画の中間評価	24
IV	個別保健事業の中間評価と見直し	
1	個別保健事業の進捗状況	25
2	個別保健事業の中間評価と見直し	26
(1)	特定健康診査	26
(2)	特定保健指導	28
(3)	糖尿病性腎症重症化予防事業	30
(4)	人間ドック利用助成事業	32
(5)	ジェネリック医薬品の普及啓発	33
(6)	重複・頻回受診者への訪問指導	34

I 保健事業実施計画（データヘルス計画）の基本的事項

1 概要

国民の健康増進の重要性が高まる中、健康づくりや疾病予防を推進するため、国により様々な法整備が行われてきました。

平成 26 年には「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」（以下、「指針」という。）の改正が行われ、保険者は、効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るために、健康・医療情報を活用して、P D C A サイクルに沿った保健事業を実施するための「データヘルス計画」を策定した上で保健事業を行うことになりました。

また、レセプト（診療報酬明細書）の電子化や国保データベース（K D B）システム（以下、「K D B システム」という。）の整備等が進み、保険者が健康・医療情報を活用して保健事業の評価や健康課題の分析を行う環境も整えられてきました。K D B システムによって、従来、保健師等が手作業で行ってきた健康づくりに関するデータ作成が効率化し、全国平均、都道府県平均、全国と同じ人口規模の保険者との比較が可能となり、保険者における地域の現状把握や健康課題の明確化が容易になりました。

さらに、表計算ソフト等を用いて、出力されるデータを二次加工することで、保険者自らの目的にあった分析が可能となり、K D B システムは保険者による各種データを活用した、P D C A サイクルに沿った保健事業の実施、すなわちデータヘルスの実行を大きく後押しするものとなっています。

そのため、保険者はデータを活用し、P D C A サイクルに沿った効果的、効率的な保健事業を展開すること及び各種データ分析等を通じて集団としての健康課題を設定し、目標に沿った保健事業を計画的に実施し、実施した保健事業について評価を行うことが求められています。

「防府市国民健康保険第二期データヘルス計画」（以下、「第二期計画」という。）は、平成 28 年 3 月に策定された「防府市国民健康保険データヘルス計画」（以下、「第一期計画」という。）の成果や課題を評価した上で、データ分析を行い、新たに取り組む健康課題等を盛り込み、被保険者の健康の保持・増進を目的として、平成 30 年 3 月に平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 年計画として策定されました。健康課題として、被保険者の健康寿命の延伸という目標を掲げ、被保険者の健康な生活を推進するため、健康・医療情報を活用して、P D C A サイクルに沿った運用を行い、効果的かつ効率的な保健事業の実施に取り組んでいます。

2 中間評価の目的と方法

データヘルス計画の中間評価・見直しを行う目的は、防府市国民健康保険を取り巻く状況の変化を踏まえ、現時点での分析結果に基づいた健康課題を確認した上で、策定した計画が軌道に乗っているかを確認し、進捗が滞っているようであれば、事業効果を高めるにはどのような改善を行うべきか等を検討し、目標達成に向けての方向性を見出すことです。

社会情勢等の変化に伴い、計画策定時に設定した目標が、評価しにくい状況にあると判明した場合は、計画の変更が必要となりますので、中間年度に計画全体の目標や事業の評価と見直しを実施して、最終的な事業や計画の目的・目標達成に向けた体制づくりを行います。

今回の中間評価は、第二期計画の中間年にあたり、中間評価・見直しにあたっては、データヘルス計画全体としての評価を行うために、まずは、計画全体の目的・目標を確認した上で、データヘルス計画全体としての実測値の評価を行います。それを踏まえ、データヘルス計画を構成する個別保健事業のデータ分析等をもとに4つの観点(ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム)で整理、評価を行います。データヘルス計画全体に関する中間評価は、個別保健事業に関するアウトプット・アウトカムの評価結果を踏まえ、現状に則して、計画全体並びに計画に盛り込まれた個別保健事業の目標として適切な指標が設定されているか見直しを行うこととなりますが、設定した目標によっては、中間評価においては経過年数が短く評価が困難となるため、計画期間の満了時、次期計画策定の段階での見直しを考えている事業もあります。

また、目標値より実績値が大きく下回っている等、達成が困難であることが想定される場合には、ストラクチャーやプロセスの観点から事業実施上の課題を振り返り、体制や具体的な事業内容や方法について、改善にむけた方向性を検討します。改善に向けた事業の拡充等が実施できる場合は、その内容を踏まえた上での目標値の設定を行います。事業の拡充等が難しい場合には、実情に応じて実現可能なレベルに目標値の見直しを行います。

このような様々な要因と分析結果を基に、関係者等との協議により、個別保健事業の今後の効果的な取り組みについての方向性を導き、計画の適正化に取り組みます。

II 防府市の現状分析

1 基本情報

本市の令和元年度末人口は、115,368人で、減少傾向にあります。高齢化率（65歳以上）は30.6%で、山口県の34.6%と比較すると4.0ポイント低く、国の28.9%と比較すると1.7ポイント高くなっています。

国民健康保険被保険者数は、22,442人で、本市の人口に占める国保加入率は19.5%です。過去5年間で比較すると減少傾向にあります。

国保被保険者平均年齢は、57.2歳と県とほとんど同じで、国と比較すると高くなっています。また、60歳を境に、年齢階層別構成割合が国と逆転しています。

人口構成概要（令和元年度）

	人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢(歳)	出生率	死亡率
防府市	115,368	30.6%	22,442	19.5%	57.2	8.8%	11.2%
県	1,340,000	34.6%	288,469	21.5%	57.0	6.5%	14.2%
同規模	120,865	26.7%	26,400	21.8%	53.3	8.0%	10.2%
国	123,731,176	28.9%	27,107,497	21.9%	53.6	7.0%	11.2%

※「県」は山口県を指す。以下全ての表において同様である。

※「同規模」は人口規模100,000以上～150,000未満の保険者を指し、「同規模」欄に記載されている数値は同規模保険者の平均値である。以下全ての表において同様である。

※国、県…人口動態統計、国民健康保険実態調査

※その他…国保データベース（KDB）システム 「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」より

人口の推移（単位：人）

年度	0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上	合計
平成28年度	15,247	30,035	36,529	17,512	17,159	116,482
平成29年度	15,099	29,663	36,367	17,384	17,611	116,124
平成30年度	14,993	29,438	36,265	17,297	17,997	115,990
令和元年度	14,849	28,937	36,249	17,071	18,262	115,368

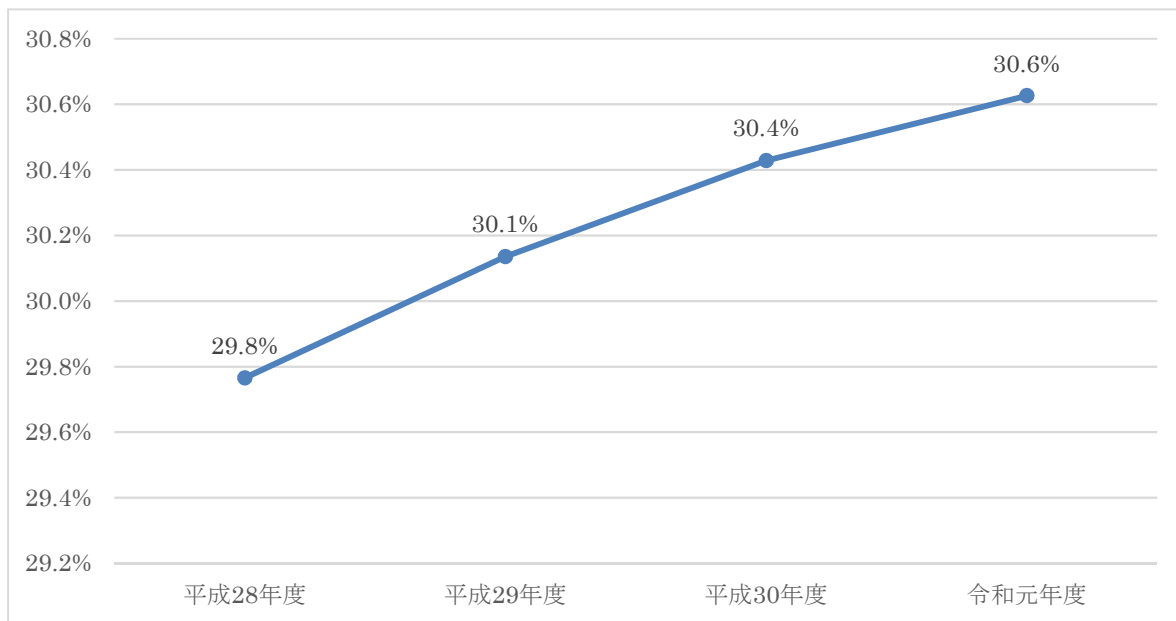
※防府市人口統計資料より

国保加入者数の推移（単位：人）

年度	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
平成28年度	917	1,045	1,125	1,637	2,195	2,064	2,882	7,023	6,008
平成29年度	784	942	1,032	1,464	2,101	1,996	2,605	6,497	6,281
平成30年度	740	903	1,104	1,413	2,015	1,980	2,314	5,863	6,715
令和元年度	686	935	987	1,297	1,943	1,938	2,147	5,135	7,077

※国保データベース（KDB）システム 「人口及び被保険者の状況」より

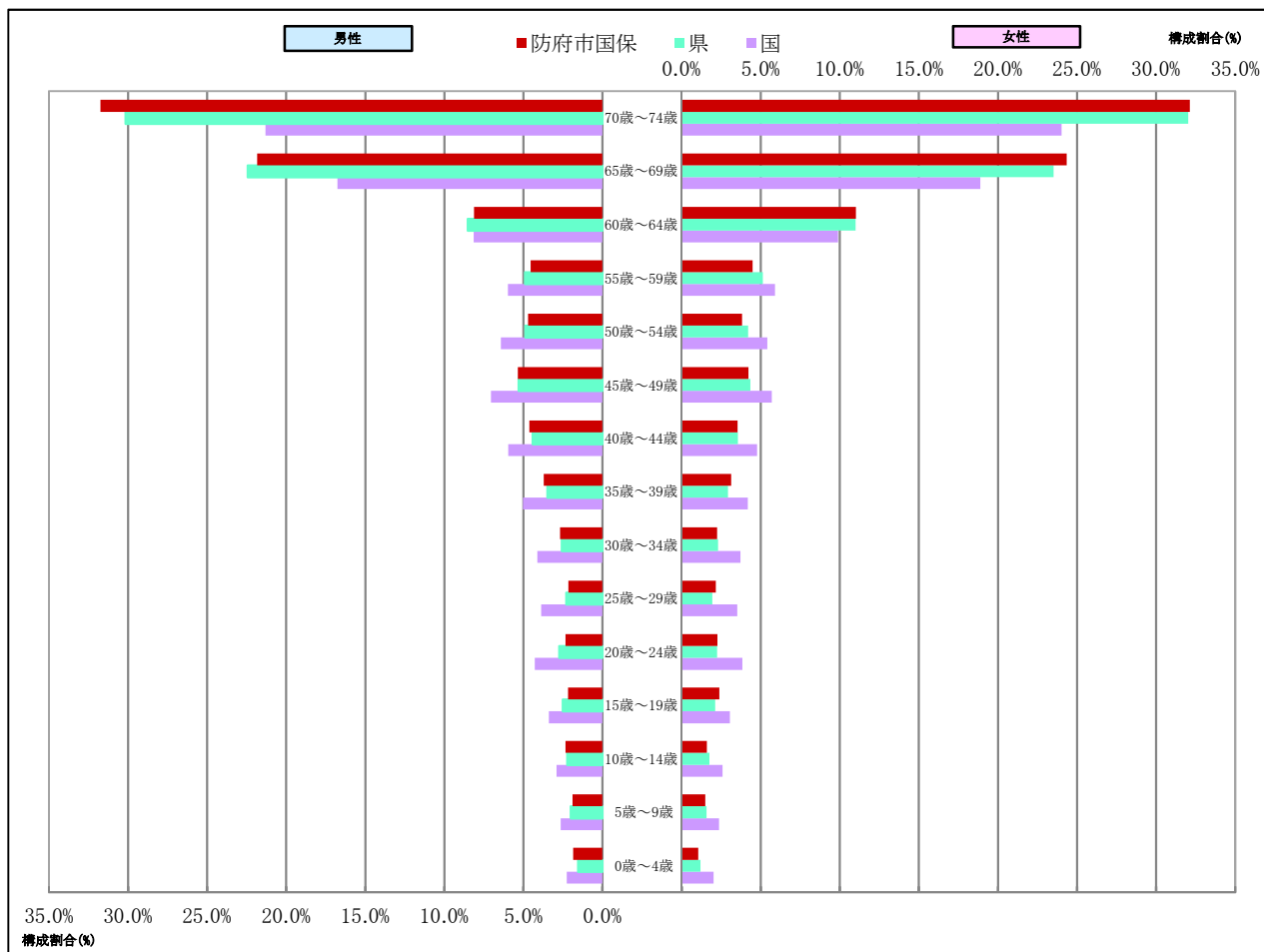
高齢化率の推移



(注) 高齢化率は 65 歳以上人口 ÷ 総人口で算出

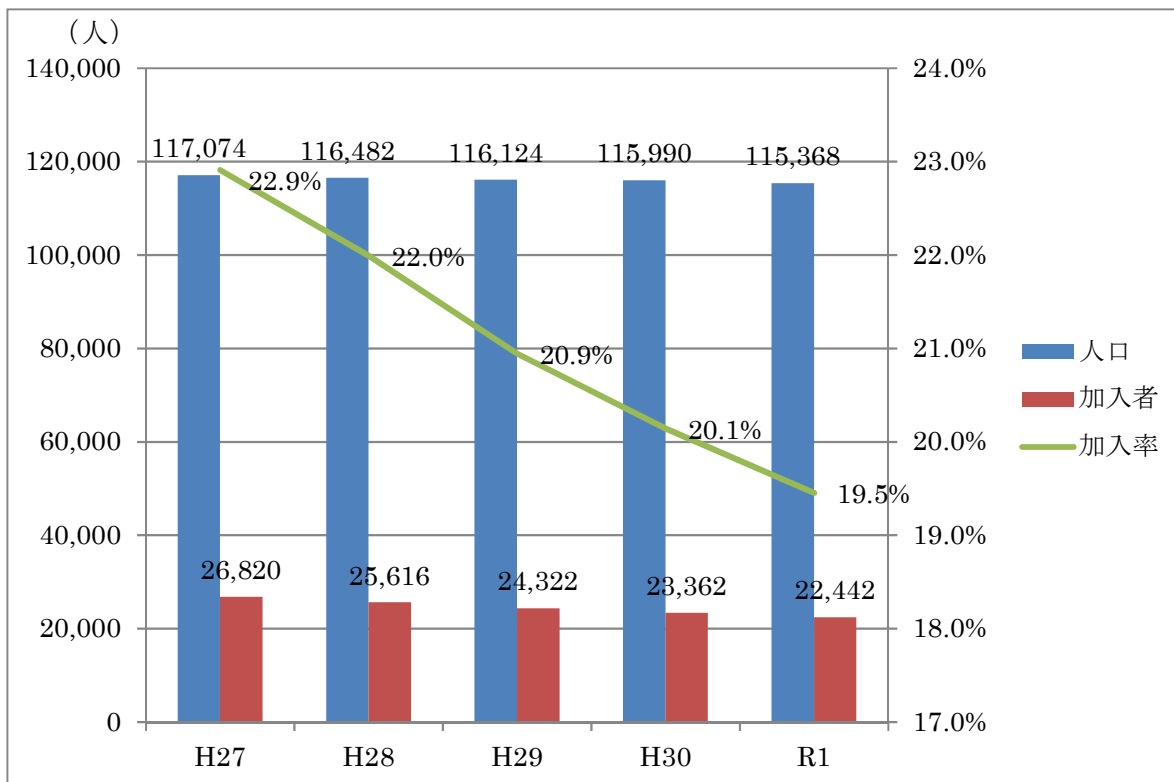
※防府市人口統計資料より

男女別・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド (令和元年度)



※国保データベース (KDB) システム 「人口及び被保険者の状況」 より

防府市の人口及び国民健康保険被保険者数の推移



※防府市「国保・年金の歩み」より

2 医療費の状況

令和元年度の医療費は103.3億円で、被保険者の減少に伴い、医療費も減少傾向にあります。療養の給付等の内訳を見ると、概ね減少傾向にありますが、訪問看護については増加しています。

一人当たり費用額については、被保険者数が年々減少しているにもかかわらず、増加しています。

また、医療費の傷病名別で、県・国よりも高い割合を示すのは、がん、慢性腎不全（透析有）、高血圧症、脳梗塞、脳出血、動脈硬化症です。

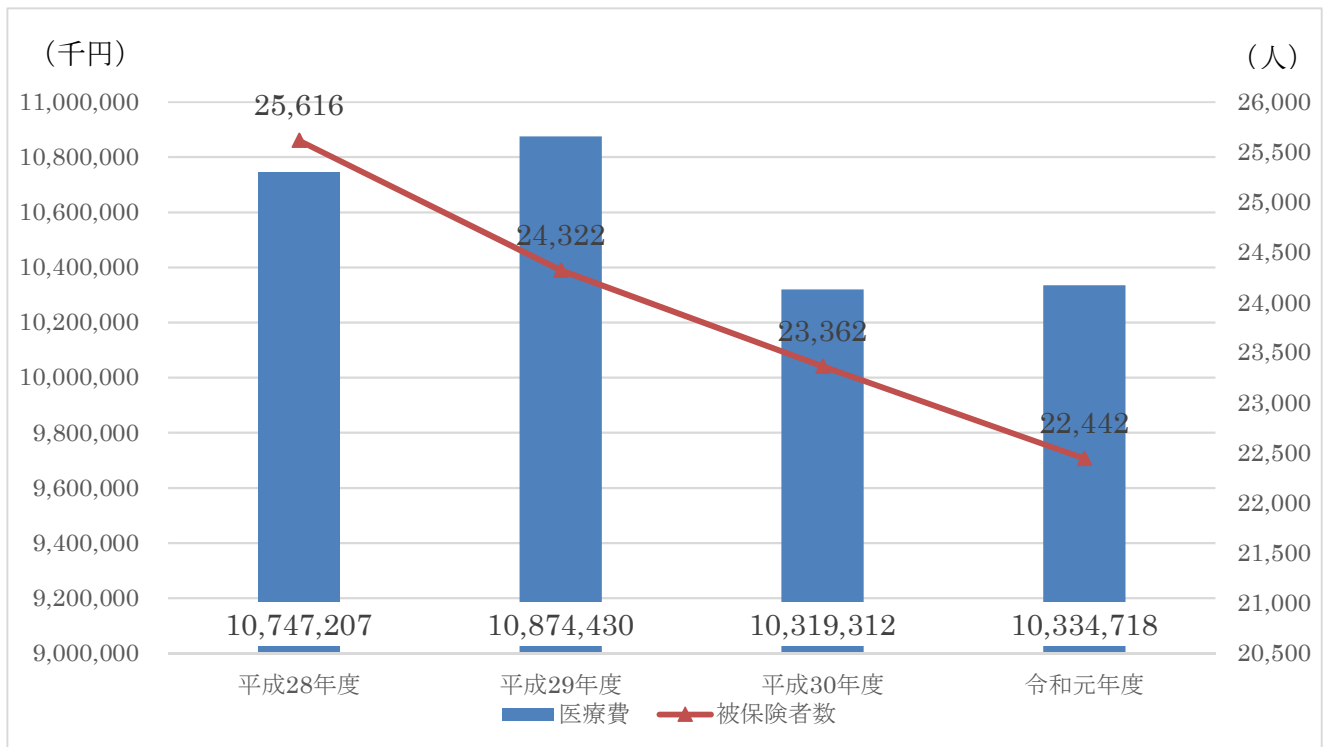
医療費の概要

医療基礎情報（令和元年度）

医療費項目	防府市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数（施設）	0.5	0.5	0.3	0.3
診療所数（施設）	3.8	4.4	3.4	3.4
病床数（床）	81.8	92.2	58.4	52.0
医師数（人）	13.0	12.5	9.9	10.7
外来患者（人）	842.5	815.4	703.1	682.3
入院患者数（人）	25.4	28.0	20.1	18.7
受診率（％）	867.9	843.4	723.2	701.0
一件当たり医療費（円）	38,250	40,250	38,110	37,410
一般	38,270	40,250	38,120	37,410
退職	18,660	39,260	35,240	36,550
外来				
外来割合（％）	58.2	54.7	58.8	59.6
外来受診率（％）	842.5	815.4	703.1	682.3
一件当たり医療費（円）	22,930	22,760	23,070	22,890
一日当たり医療費（円）	14,960	14,640	15,190	15,080
一件当たり受診回数（回）	1.5	1.6	1.5	1.5
入院				
入院費用の割合（％）	41.8	45.3	41.2	40.4
入院率（％）	25.4	28.0	20.1	18.7
一件当たり医療費（円）	545,480	550,290	565,000	567,030
一日当たり医療費（円）	31,230	29,520	34,550	36,070
一件当たり受診回数（回）	17.5	18.6	16.4	15.7

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

医療費と被保険者数の推移



(注) 医療費は療養の給付と療養費の合計

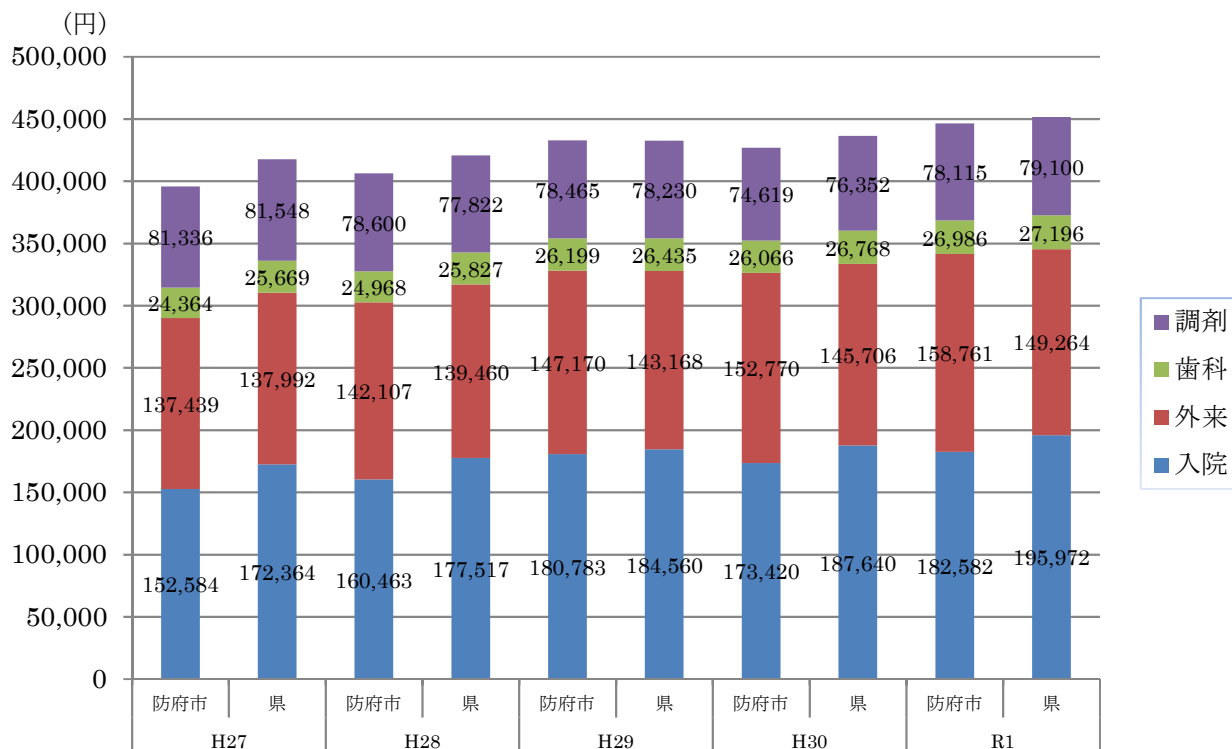
※防府市「国保・年金の歩み」より

療養の給付等の内訳の推移 (単位：千円)

年度	入院・入院外	歯科	調剤	食事	訪問看護	合計
平成28年度	7,733,471	639,463	2,012,922	226,956	76,840	10,689,652
平成29年度	7,960,003	636,811	1,907,565	232,124	77,887	10,814,390
平成30年度	7,601,059	608,703	1,743,011	217,505	81,857	10,252,135
令和元年度	7,617,260	605,533	1,752,488	217,291	87,754	10,280,326

※防府市「国保・年金の歩み」より

一人当たり費用額の推移（一般＋退職）

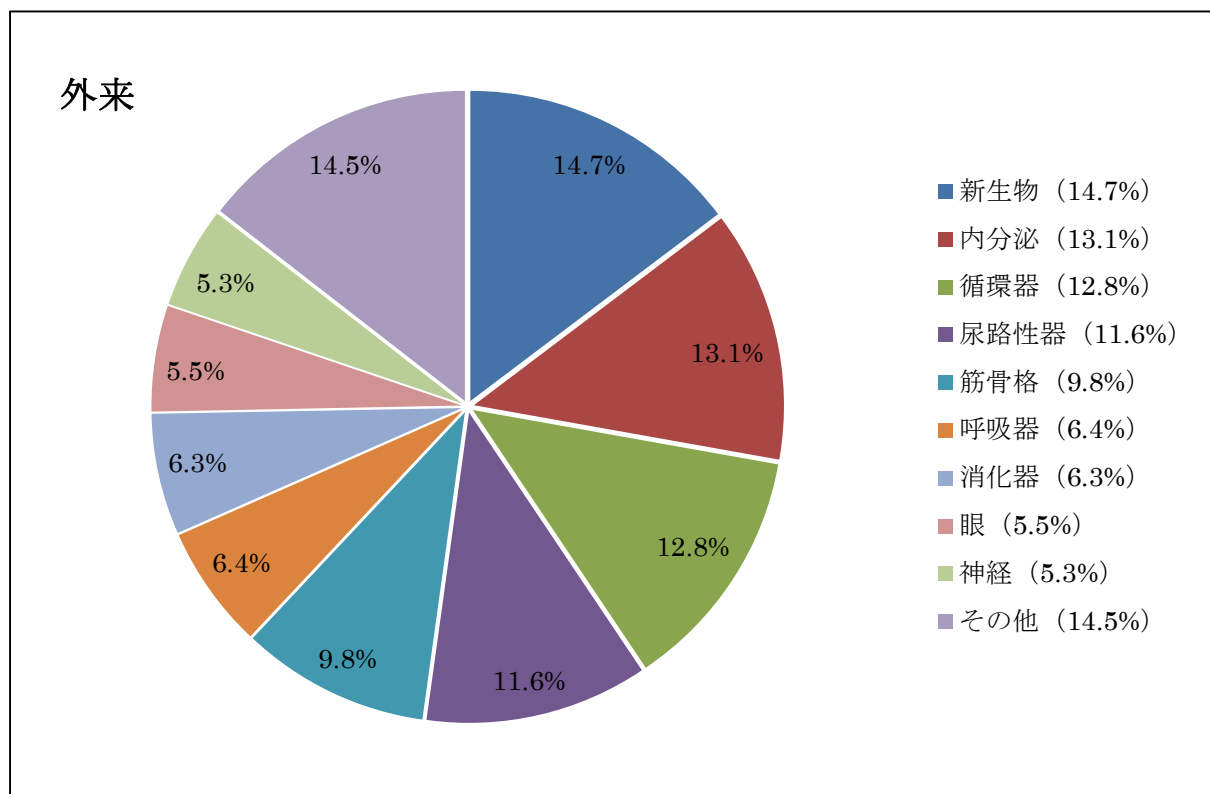
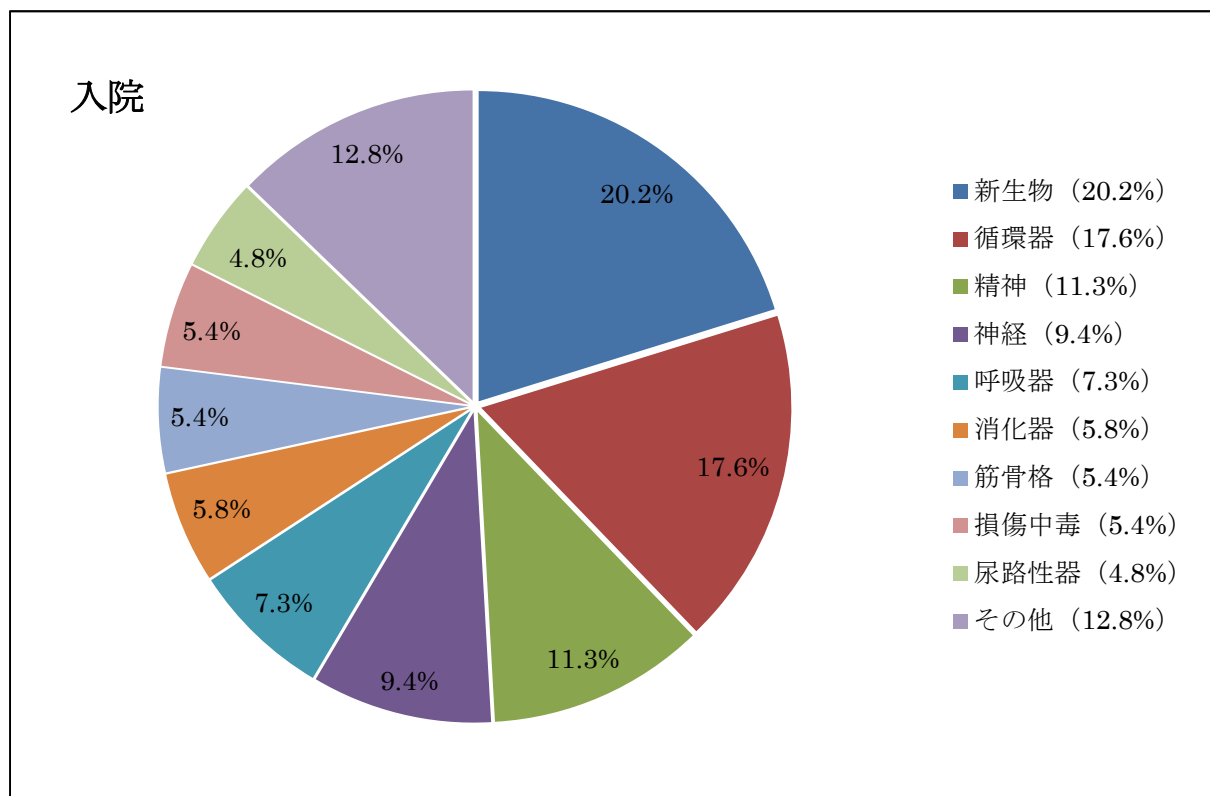


※国保連合会「医療費統計」より

医療費の傷病名別の医療費とその割合（主要な疾病のみ）

最大医療資源傷病名	防府市		県		同規模		国	
	医療費(円)	割合(%)	医療費(円)	割合(%)	医療費(円)	割合(%)	医療費(円)	割合(%)
がん	1,526,500,030	32.5	19,490,411,510	29.6	1,401,249,042	29.6	1,526,167,807,180	30.1
筋・骨格	713,976,800	15.2	10,160,042,910	15.5	755,267,944	15.9	839,073,496,680	16.6
精神	640,862,460	13.6	12,420,094,050	18.9	748,959,955	15.8	761,977,215,970	15.0
糖尿病	401,927,370	8.6	6,026,718,570	9.2	479,884,327	10.1	516,153,679,010	10.2
慢性腎不全（透析有）	399,570,560	8.5	4,662,023,880	7.1	407,292,654	8.6	424,703,909,480	8.4
高血圧症	337,557,590	7.2	4,349,107,960	6.6	316,315,173	6.7	335,968,829,640	6.6
脂質異常症	220,954,850	4.7	2,981,247,750	4.5	232,782,002	4.9	246,170,927,670	4.9
脳梗塞	198,916,320	4.2	2,375,535,960	3.6	135,306,996	2.9	139,296,599,020	2.7
脳出血	104,217,260	2.2	1,011,381,000	1.5	60,342,842	1.3	62,413,239,890	1.2
狭心症	74,402,290	1.6	1,149,139,080	1.7	121,504,022	2.6	127,872,364,900	2.5
慢性腎不全（透析無）	29,669,800	0.6	445,888,820	0.7	27,733,954	0.6	29,637,480,020	0.6
心筋梗塞	24,450,680	0.5	338,816,320	0.5	30,952,129	0.7	33,353,749,690	0.7
動脈硬化症	14,409,060	0.3	157,765,490	0.2	10,421,913	0.2	11,218,128,410	0.2
脂肪肝	7,121,380	0.2	127,130,140	0.2	7,824,909	0.2	8,393,434,620	0.2
高尿酸血症	3,249,280	0.1	62,677,410	0.1	5,700,166	0.1	6,413,990,610	0.1

令和元年度疾病大分類別医療費割合（入院、外来）



※国保データベース（KDB）システム 「医療費分析（2）大分類別医療費」より

令和元年度疾病中分類別医療費割合（入院、外来）

(入院)				(外来)			
	中分類別疾病	疾病別医療費（円）	入院医療費に占める割合		中分類別疾病	疾病別医療費（円）	外来医療費に占める割合
1	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	252,376,590	6.7%	1	腎不全	473,188,590	9.1%
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	249,253,250	6.6%	2	糖尿病	381,355,230	7.3%
3	その他の神経系の疾患	222,704,450	5.9%	3	高血圧性疾患	328,719,310	6.3%
4	その他の心疾患	184,436,540	4.9%	4	その他の悪性新生物<腫瘍>	275,073,020	5.3%
5	その他の呼吸器系の疾患	162,337,180	4.3%	5	脂質異常症	217,974,370	4.2%
6	その他の消化器系の疾患	145,987,560	3.9%	6	その他の心疾患	192,570,380	3.7%
7	脳梗塞	144,646,330	3.8%	7	その他の眼及び付属器の疾患	178,596,440	3.4%
8	腎不全	119,049,270	3.2%	8	その他の消化器系の疾患	176,832,250	3.4%
9	骨折	117,637,520	3.1%	9	その他の神経系の疾患	152,884,880	2.9%
10	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	110,929,160	2.9%	10	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	142,990,970	2.7%
	その他(上記以外の疾患)	2,058,802,980	54.7%		その他(上記以外の疾患)	2,698,054,760	51.7%
	入院総医療費	3,768,160,830	100%		外来総医療費	5,218,240,200	100%

(入院+外来)

	中分類別疾病	疾病別医療費 (円)	医療費に 占める割 合		中分類別疾病	疾病別医療費 (円)	医療費に 占める割 合
1	腎不全	592,237,860	6.6%	7	高血圧性疾患	337,557,590	3.8%
2	その他の悪性新生物<腫瘍>	524,326,270	5.8%	8	その他の消化器系の疾患	322,819,810	3.6%
3	糖尿病	410,537,310	4.6%	9	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	253,920,130	2.8%
4	その他の心疾患	377,006,920	4.2%	10	脂質異常症	220,954,850	2.5%
5	その他の神経系の疾患	375,589,330	4.2%		その他(上記以外の疾患)	5,219,582,130	58.0%
6	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	351,868,830	3.9%		総医療費	8,986,401,030	100%

※国保データベース (KDB) システム 「医療費分析 (2) 中分類別医療費」より

3 介護保険の状況

本市の介護認定率は、山口県、同規模保険者及び全国市町村と比べて高い傾向にありますが、一件当たりの介護給付費は低い傾向にあります。

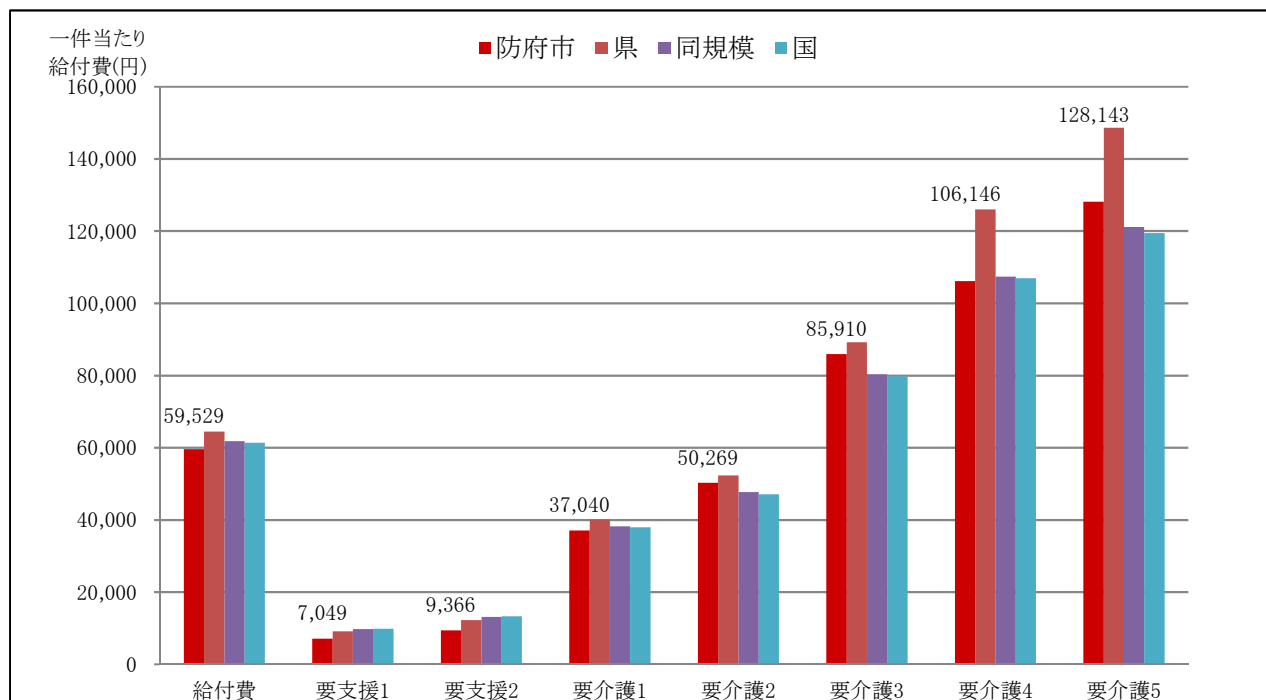
要介護認定を受けている人は、65歳以上で約5人に1人であり、要介護度が重くなるにつれて、一件当たり給付費も増加しています。

令和元年度の要介護（支援）認定者の主要な疾病別有病状況を見ると、「心臓病」が4,397人と最も多く、次いで「高血圧症」（3,843人）、「筋・骨格」（3,800人）、「精神」（2,922人）の順となっています。

介護保険認定率及び給付費等の状況（令和元年度）

区分	防府市	県	同規模	国
認定率（％）				
第1号 （65歳以上）	20.3	20.0	18.9	19.6
第2号 （40～64歳）	0.4	0.4	0.4	0.4
認定者数（人）				
第1号 （65歳以上）	6,542	90,875	6,129	6,620,276
第2号 （40～64歳）	132	1,621	146	152,813
一件当たり給付費（円）				
給付費	59,529	64,472	61,799	61,336
要支援1	7,049	9,130	9,734	9,825
要支援2	9,366	12,225	13,134	13,241
要介護1	37,040	40,065	38,233	37,931
要介護2	50,269	52,269	47,642	47,085
要介護3	85,910	89,141	80,328	79,808
要介護4	106,146	126,029	107,344	106,950
要介護5	128,143	148,632	121,078	119,410

要支援・要介護の一件当たり給付費（令和元年度（累計））

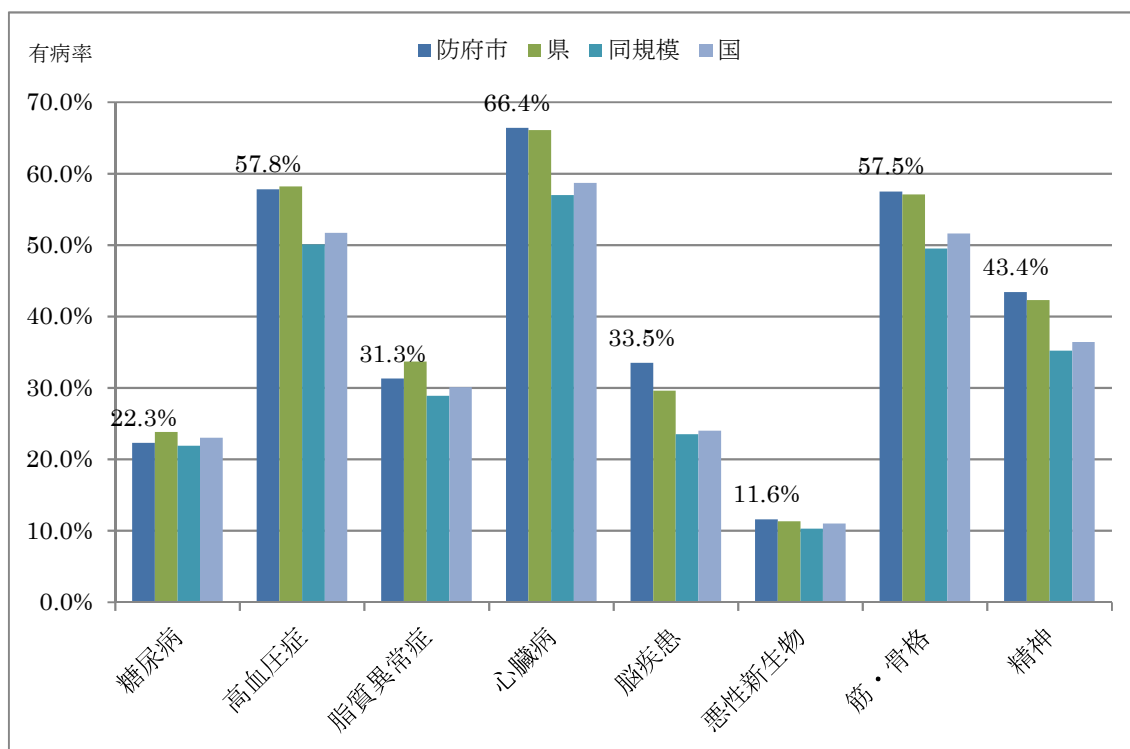


※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

要介護（支援）認定者の主要な疾病別有病状況（令和元年度）※項目毎に上位4疾病を 表示する。

区分		防府市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数（人）		6,674		90,875		6,129		6,620,276	
心臓病	実人数（人）	4,397	1	59,981	1	3,616	1	3,939,115	1
	有病率	66.4%		66.1%		57.0%		58.7%	
高血圧症	実人数（人）	3,843	2	52,871	2	3,183	2	3,472,146	2
	有病率	57.8%		58.2%		50.1%		51.7%	
筋・骨格	実人数（人）	3,800	3	51,578	3	3,141	3	3,448,596	3
	有病率	57.5%		57.1%		49.5%		51.6%	
精神	実人数（人）	2,922	4	38,477	4	2,234	4	2,437,051	4
	有病率	43.4%		42.3%		35.2%		36.4%	
脳疾患	実人数（人）	2,183	5	26,611	6	1,470	6	1,587,755	6
	有病率	33.5%		29.6%		23.5%		24.0%	
脂質異常症	実人数（人）	2,085	6	30,751	5	1,851	5	2,036,238	5
	有病率	31.3%		33.7%		28.9%		30.1%	
糖尿病	実人数（人）	1,447	7	21,543	7	1,387	7	1,537,914	7
	有病率	22.3%		23.8%		21.9%		23.0%	
悪性新生物	実人数（人）	764	8	10,177	8	656	8	739,425	8
	有病率	11.6%		11.3%		10.3%		11.0%	

要介護（支援）認定者の疾病別有病状況（令和元年度）



※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

4 死因の状況

本市における令和元年度の主たる死因別の死亡人数を見ると、「悪性新生物（がん）」が375人と最も多く、次いで「心臓病」（258人）、「脳疾患」（142人）の順となっており、県、同規模保険者、全国市町村と同じ傾向にあります。

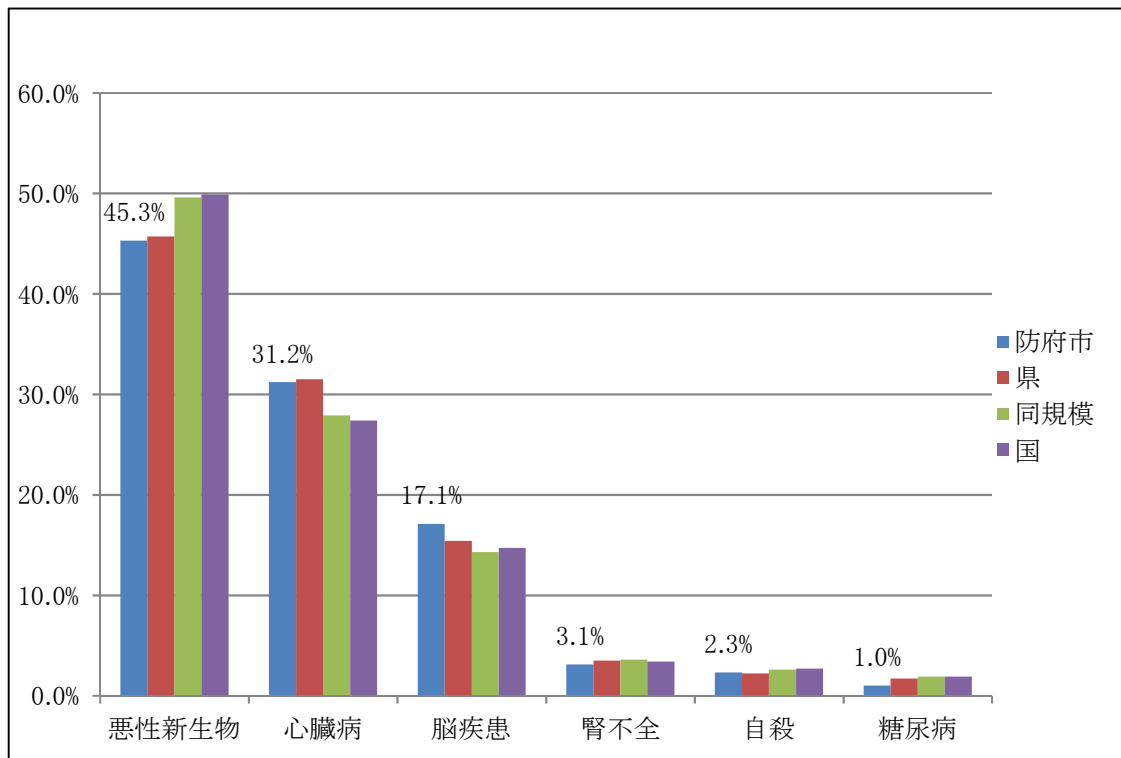
死因別死亡割合では脳疾患の占める割合が県、同規模保険者、全国市町村を上回っています。

主たる死因とその割合（令和元年度）

疾病項目	人数	防府市	県	同規模	国
悪性新生物	375	45.3%	45.7%	49.6%	49.9%
心臓病	258	31.2%	31.5%	27.9%	27.4%
脳疾患	142	17.1%	15.4%	14.4%	14.7%
腎不全	26	3.1%	3.5%	3.6%	3.4%
自殺	19	2.3%	2.2%	2.6%	2.7%
糖尿病	8	1.0%	1.7%	1.9%	1.9%
合計	828				

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

主たる死因とその割合（令和元年度）



※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

主たる死因順位の推移（防府市）

順位	平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度	
	死因	人数	死因	人数	死因	人数	死因	人数
1	悪性新生物	354	悪性新生物	370	悪性新生物	399	悪性新生物	375
2	心臓病	224	心臓病	218	心臓病	242	心臓病	258
3	脳疾患	120	脳疾患	104	脳疾患	123	脳疾患	142
4	腎不全	26	腎不全	33	腎不全	29	腎不全	26
5	自殺	23	自殺	25	自殺	14	自殺	19
6	糖尿病	7	糖尿病	14	糖尿病	7	糖尿病	8
計		754		764		814		828

※国保データベース（KDB）システム 「地域の全体像の把握」より

5 特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

本市における令和元年度の特定健康診査の受診率は29.3%で県の平均30.6%を下回っており、国の令和5年度末の目標60%よりかなり低い状況にあります。また、特定保健指導終了率は少しずつ上昇していますが、県内では低位にあります。

男女別・年齢階層別特定健康診査受診率から、男女ともに年代が高いほど受診率が高い傾向にあります。

令和元年度の新規受診者数は778人で、61歳以上の新規受診者数と比較して、40から60歳までの新規受診者数が少ない傾向にあります。

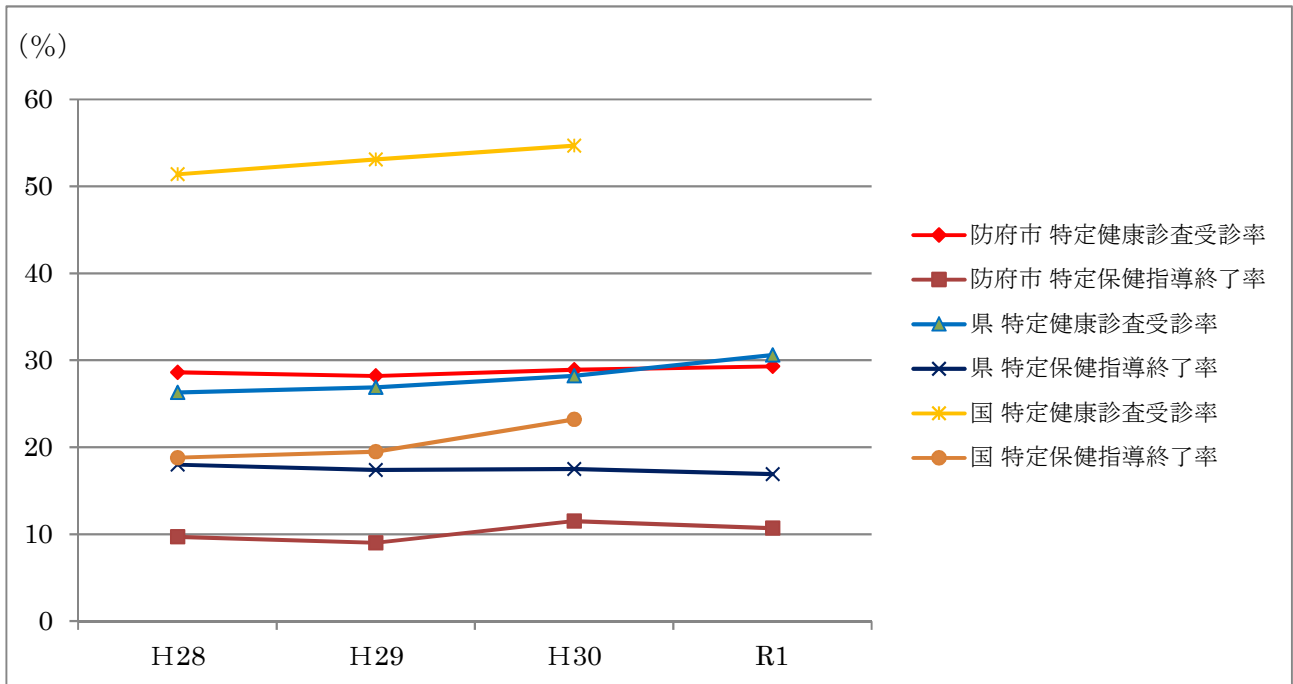
特定保健指導の生活習慣改善率は、平成28年度から令和元年度まで、食事・運動ともに目標の30%を上回っています。

特定健康診査及び特定保健指導の実施状況

		H28	H29	H30	R1
防府市	特定健康診査対象者数	18,649人	17,936人	17,366人	16,729人
	特定健康診査受診者数	5,335人	5,050人	5,018人	4,901人
	特定健康診査受診率	28.6%	28.2%	28.9%	29.3%
	特定保健指導対象者数	559人	575人	529人	540人
	特定保健指導終了者数	54人	52人	61人	58人
	特定保健指導終了率	9.7%	9.0%	11.5%	10.7%
	メタボリックシンドローム該当率	16.6%	18.1%	19.5%	19.6%
	メタボリックシンドローム予備群率	11.2%	10.9%	11.1%	11.1%
県	特定健康診査受診率	26.3%	26.9%	28.2%	30.6%
	特定保健指導終了率	18.0%	17.4%	17.5%	16.9%
	メタボリックシンドローム該当率	15.7%	16.3%	17.2%	17.9%
	メタボリックシンドローム予備群率	10.5%	10.7%	10.7%	10.9%
国	特定健康診査受診率	51.4%	53.1%	54.7%	
	特定保健指導終了率	18.8%	19.5%	23.2%	
	メタボリックシンドローム該当率	14.8%	15.1%	15.5%	
	メタボリックシンドローム予備群率	11.8%	12.0%	12.2%	

※防府市は「法定報告」、県は市町国保及び医師国保の集計、国は厚労省統計資料（健康保険、共済を含む）より

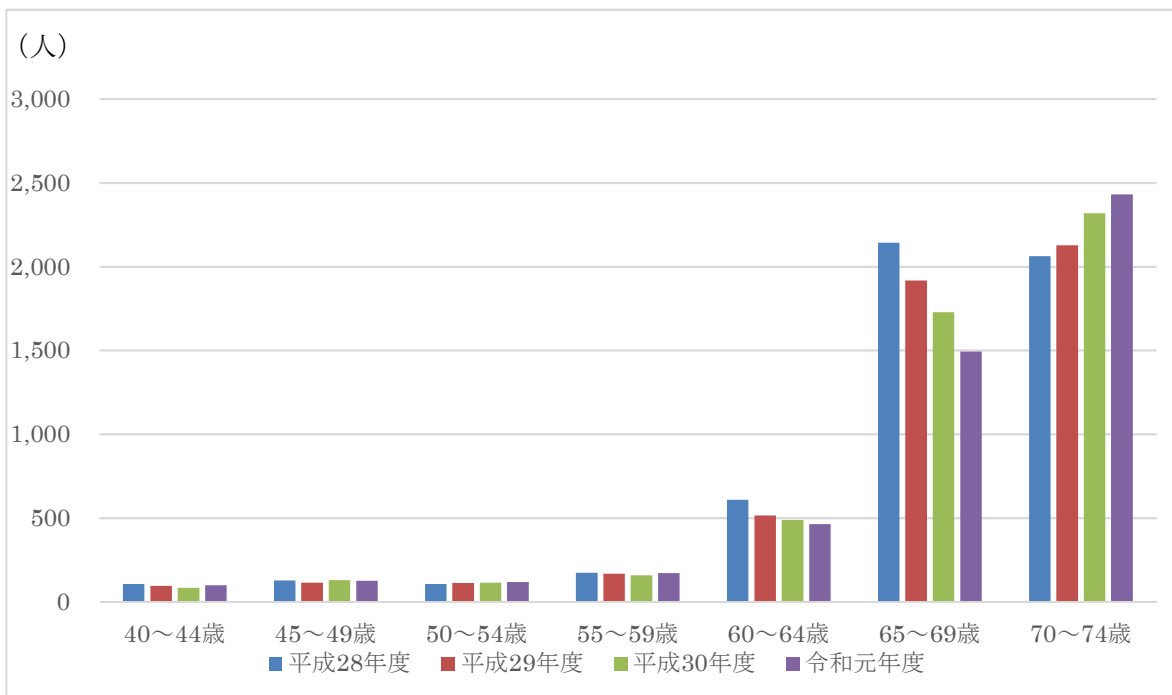
※R1 国の値は未確定



年齢階層別 特定健康診査受診者数の推移 (単位：人)

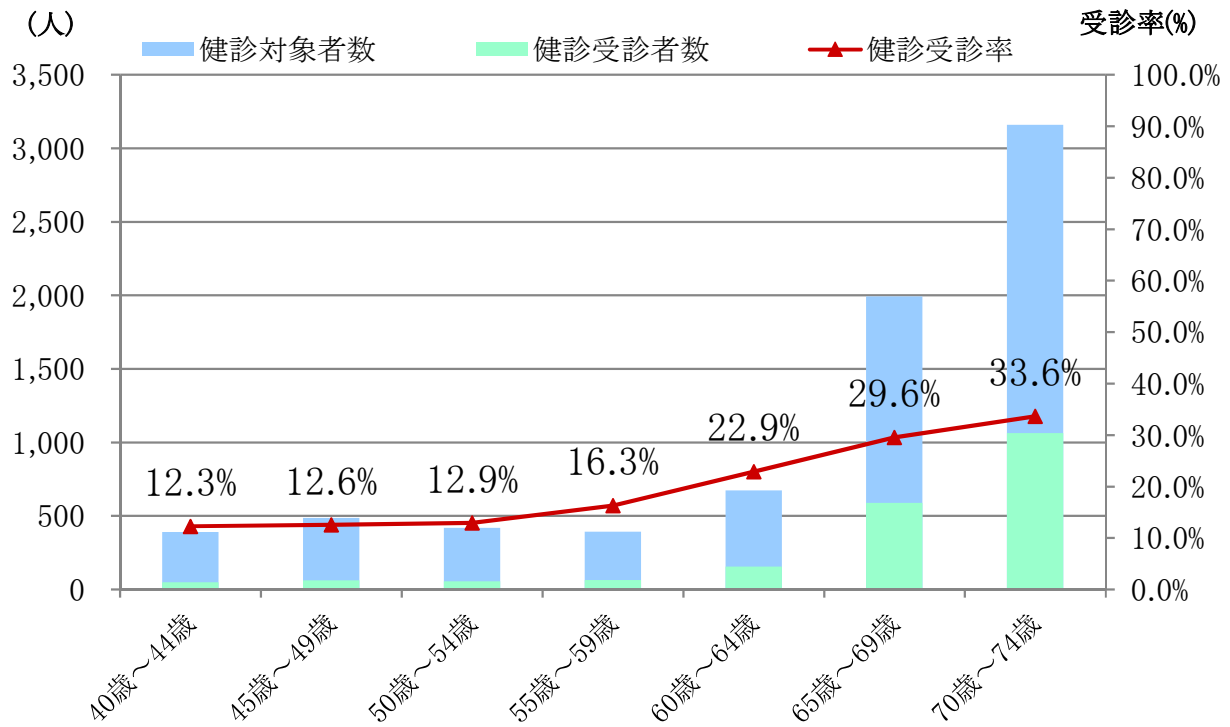
年度	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳
平成28年度	107	128	107	173	609	2,142	2,063
平成29年度	94	114	112	168	515	1,917	2,128
平成30年度	83	130	113	158	489	1,727	2,319
令和元年度	99	126	118	172	463	1,493	2,430

年齢階層別 特定健康診査受診者数の推移

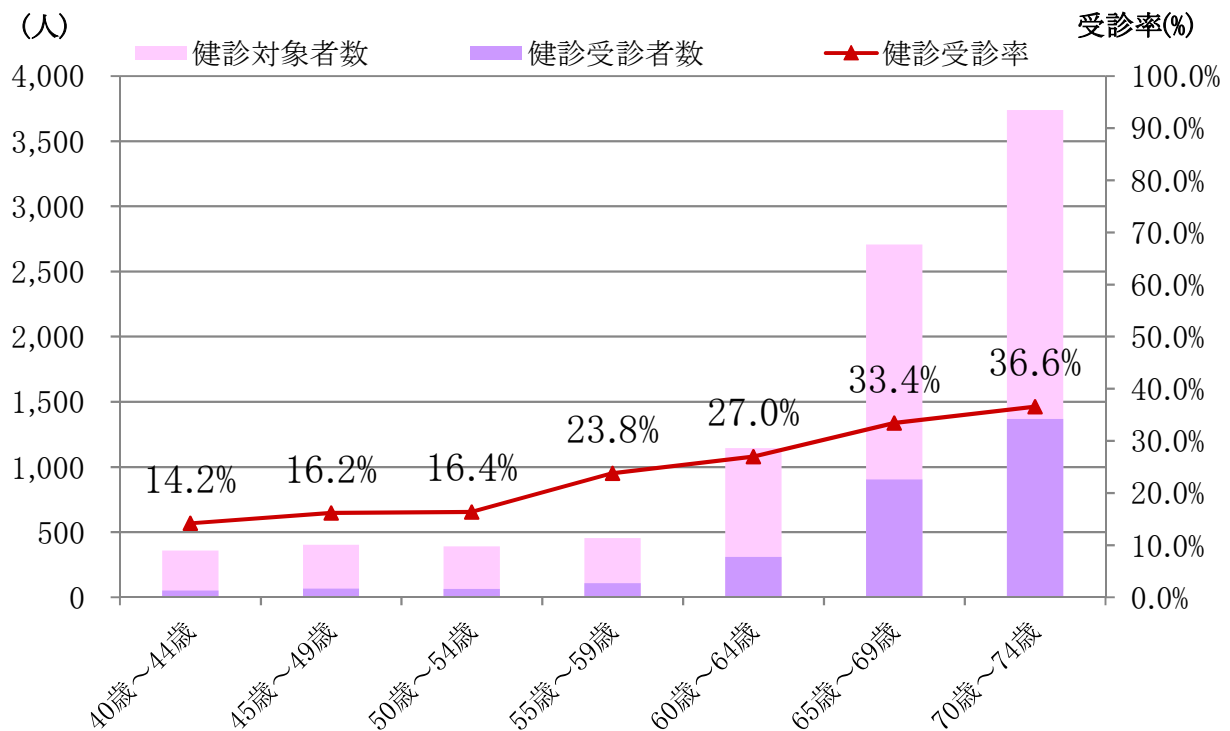


※国保データベース (KDB) システム 「厚生労働省様式 5-4」 より

(男性) 年齢別特定健康診査受診率(令和元年度)

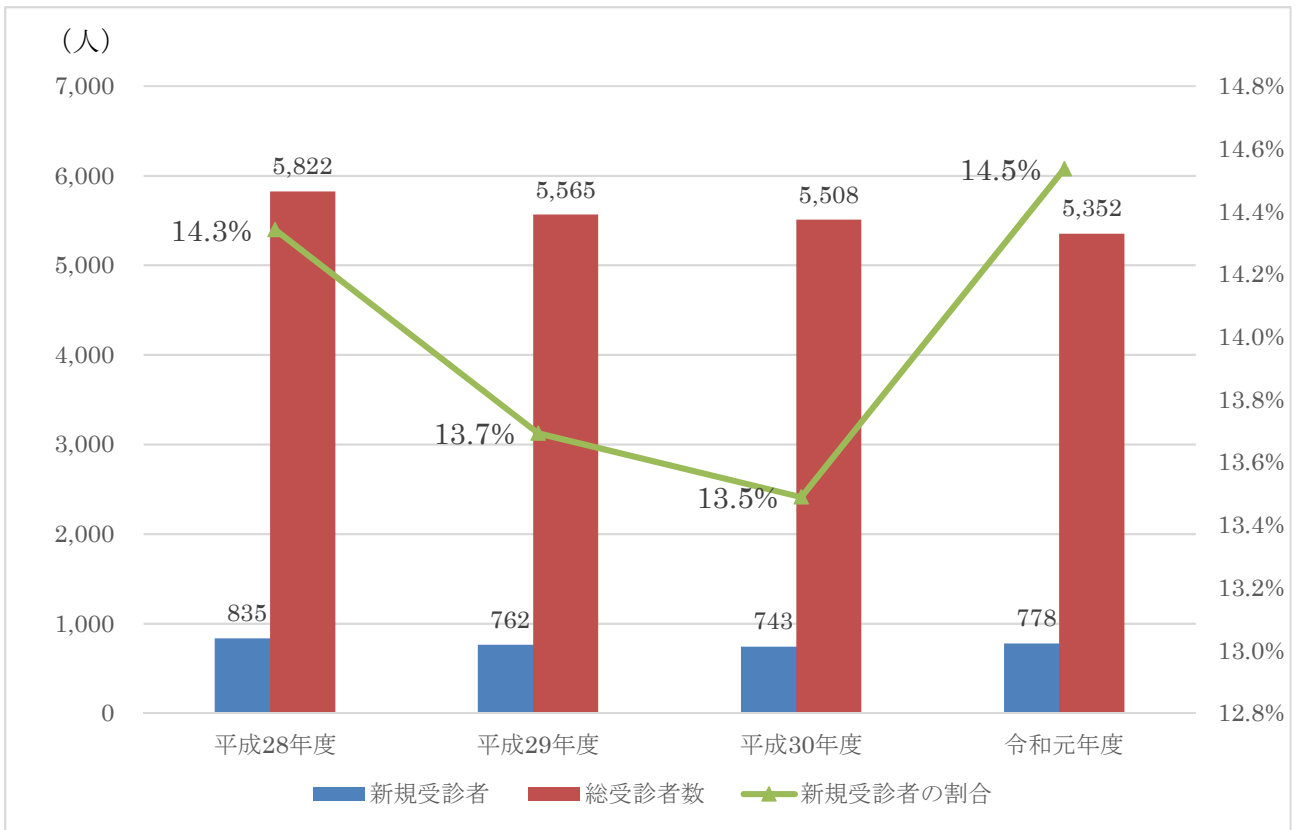


(女性) 年齢別特定健康診査受診率(令和元年度)



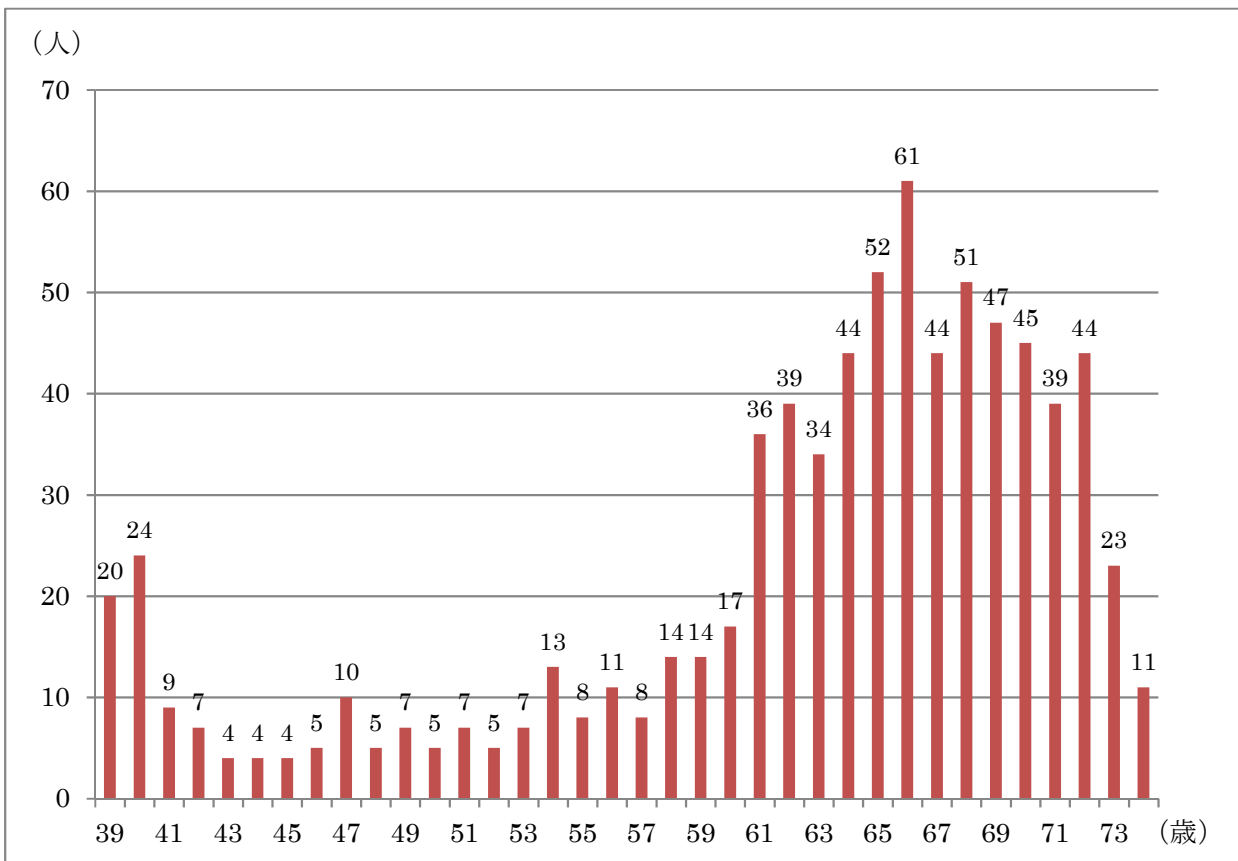
※国保データベース (KDB) システム 「厚生労働省様式 5-4」 より

特定健康診査新規受診者数及び新規受診者の割合の推移



※特定健康診査等データ管理システムより

新規健診受診者（778人）の年齢別状況（令和元年度）



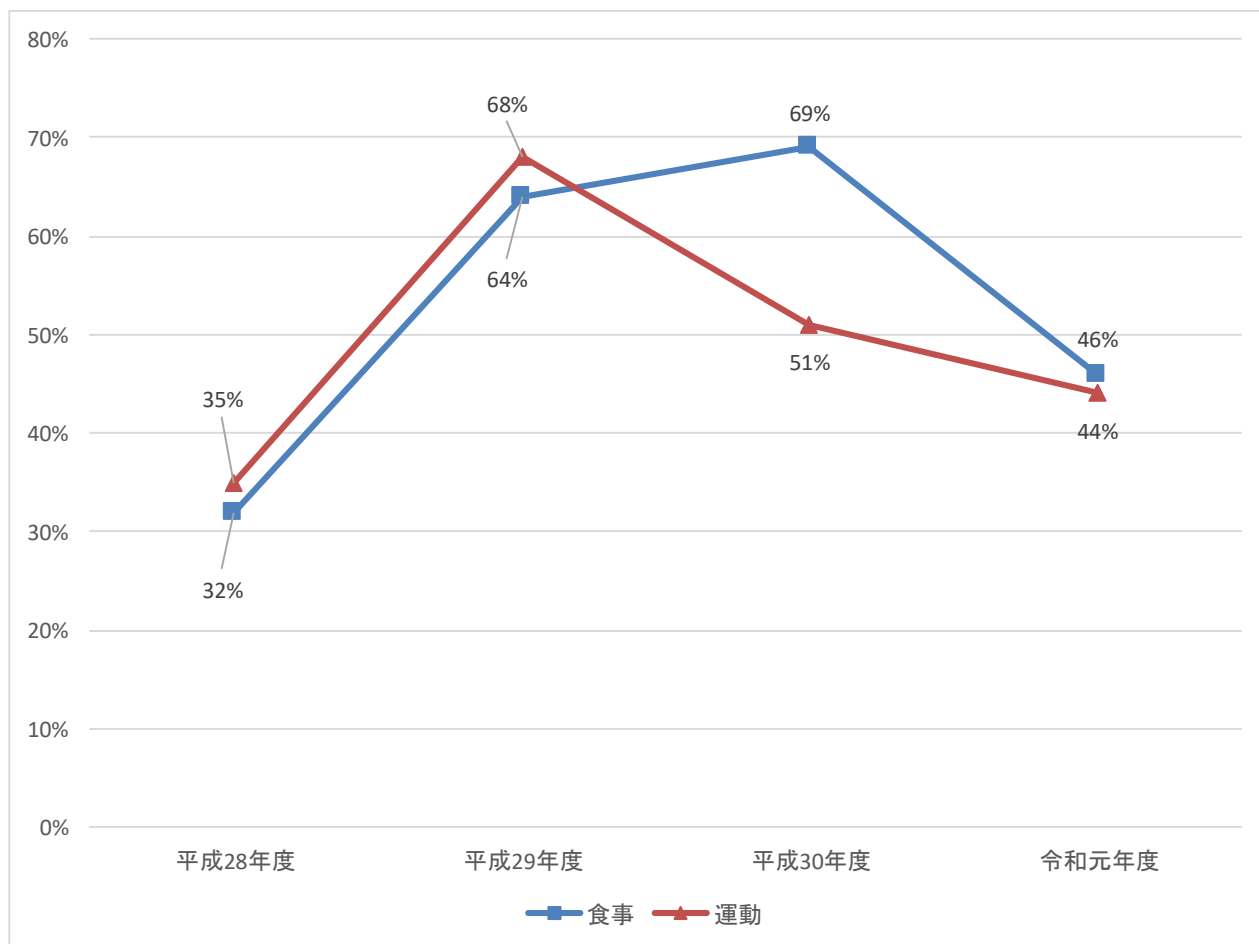
※特定健康診査等データ管理システムより

特定保健指導利用者の生活習慣改善率の推移

年 度	対象者数	食事		運動	
		改善者数	改善率	改善者数	改善率
平成 28 年度	40 人	13 人	32%	14 人	35%
平成 29 年度	48 人	31 人	64%	33 人	68%
平成 30 年度	43 人	30 人	69%	22 人	51%
令和元年度	56 人	26 人	46%	25 人	44%

※生活習慣改善率…特定保健指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の割合

特定保健指導利用者の生活習慣改善率の推移

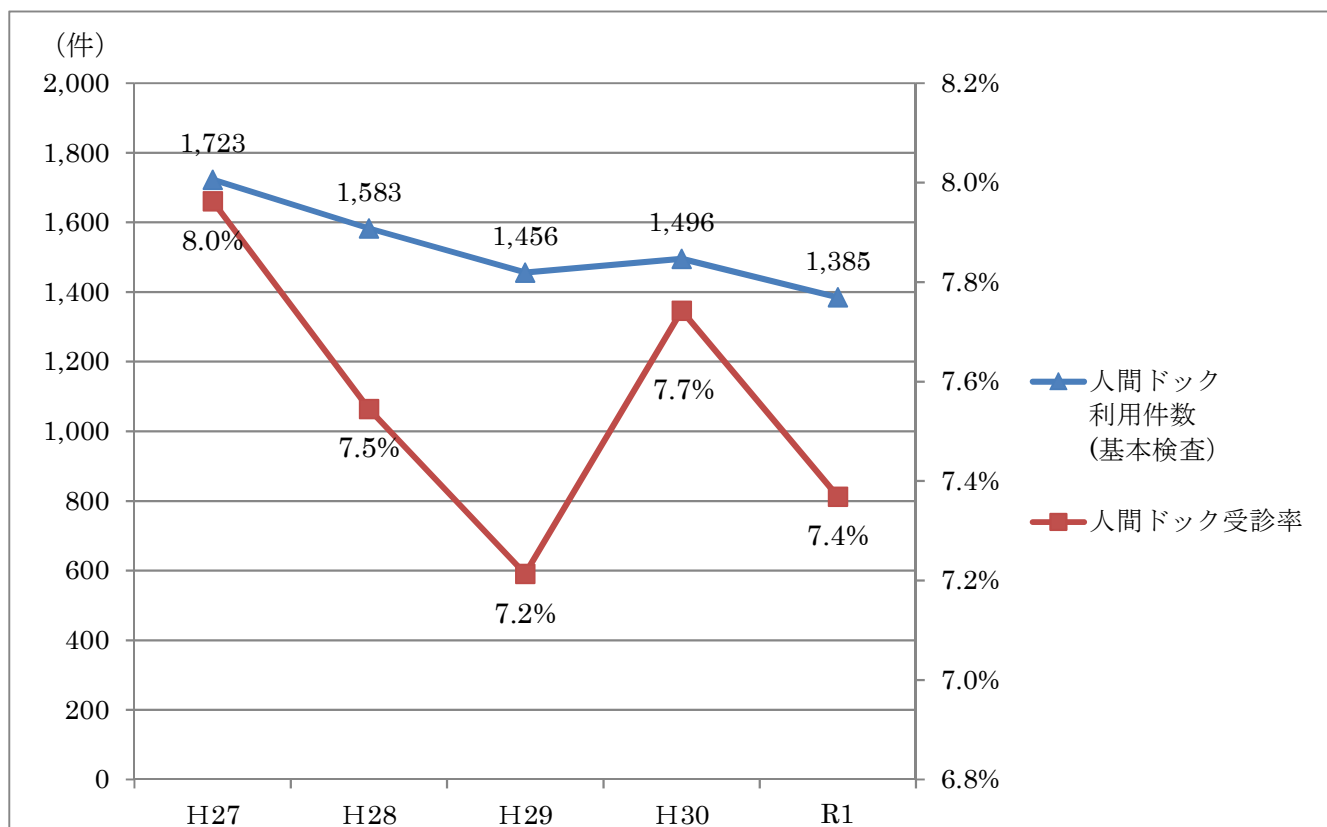


6 人間ドック利用助成事業

人間ドック利用件数及び受診率は減少傾向にあります。

人間ドック利用件数の推移

	H27	H28	H29	H30	R1
利用件数 (基本検査+追加検査)	8,239 件	7,415 件	7,066 件	7,252 件	6,760 件
利用件数 (基本検査)	1,723 件	1,583 件	1,456 件	1,496 件	1,385 件
増減件数 (基本検査)	76 件	△140 件	△127 件	40 件	△111 件
対象者 (法定報告)	21,639 人	20,980 人	20,184 人	19,322 人	18,795 人
人間ドック受診率 (基本検査)	8.0%	7.5%	7.2%	7.7%	7.4%



※防府市「国保・年金の歩み」より

※人間ドック受診率の母数は特定健診法定報告対象者

7 糖尿病性腎症重症化予防事業

人工透析の患者になる恐れのある被保険者への糖尿病性腎症重症化予防事業（以下「予防事業」という。）の参加修了率は高く、成果指標を達成しました。しかし、生活習慣改善率は、平成29年度までの目標値の設定と実績値に乖離があり、また、より実態に即した改善率を抽出するため、平成30年度以降は、目標値及び集計方法を見直しました。

平成28年度の予防事業参加者から新規透析患者が1人出ておりますが、平成29年度以降は0人で推移しています。

事業対象者・参加者・修了者

	H27	H28	H29	H30	R1
実施要領に基づき選定された対象者	49人	87人	123人	75人	100人
参加者	14人	10人	10人	11人	19人
参加修了者	13人	9人	9人	9人	18人

予防事業における実績値の推移

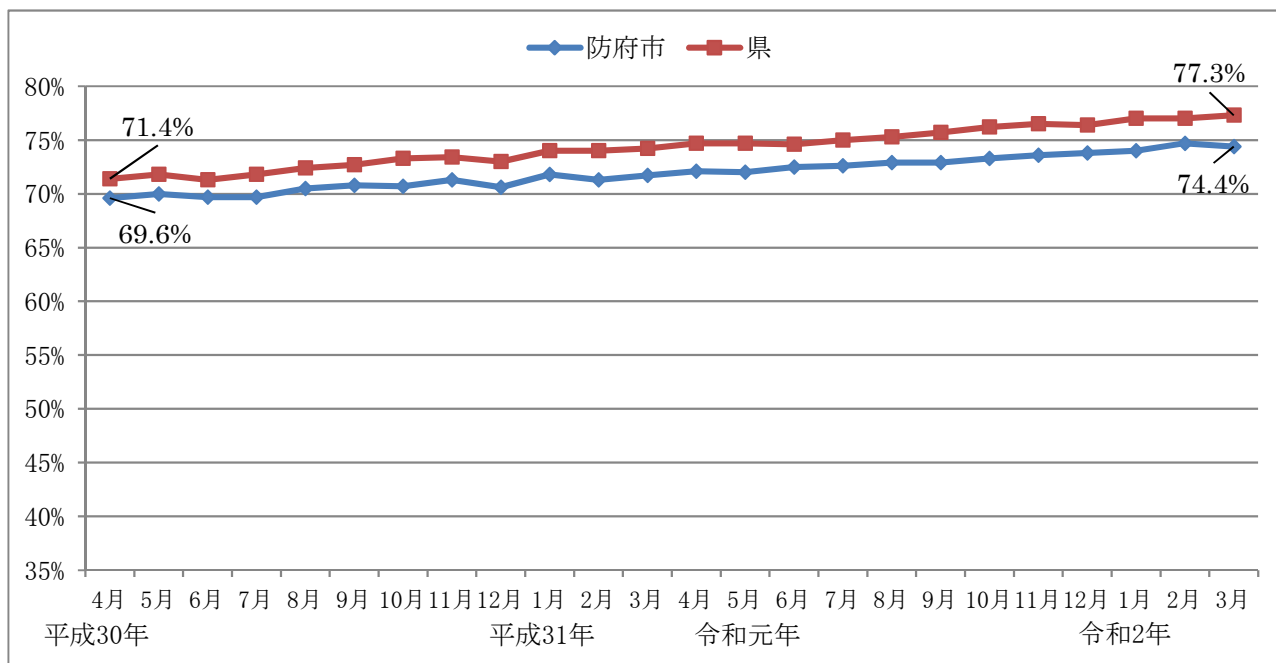
評価基準	方法	詳細	成果指標	H27	H28	H29	H30	R1
参加修了数	参加者のうち指導が修了した人数		参加者の90%	92.9%	90.0%	90.0%	81.8%	94.7%
生活習慣改善率	アンケートによる患者本人の評価（H29まで） 体重、BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、HbA1cの5項目の数値が改善した人数の割合（H30から）	アンケートにおける食事にかかる項目（H29まで）	予防事業実施者の生活習慣改善率50%	17.1%	11.3%	16.4%	73.3%	54.4%
新規透析患者の減少	参加修了者にかかる特定疾病受領証の発行数		0人	0人	1人	0人	0人	0人

8 保健衛生普及事業

(1) ジェネリック医薬品普及啓発

令和2年3月時点の本市のジェネリック医薬品の利用率は74.4%であり、年々上昇していますが、国の目標は令和2年度末までに80%以上であり、達成できていない現状にあります。

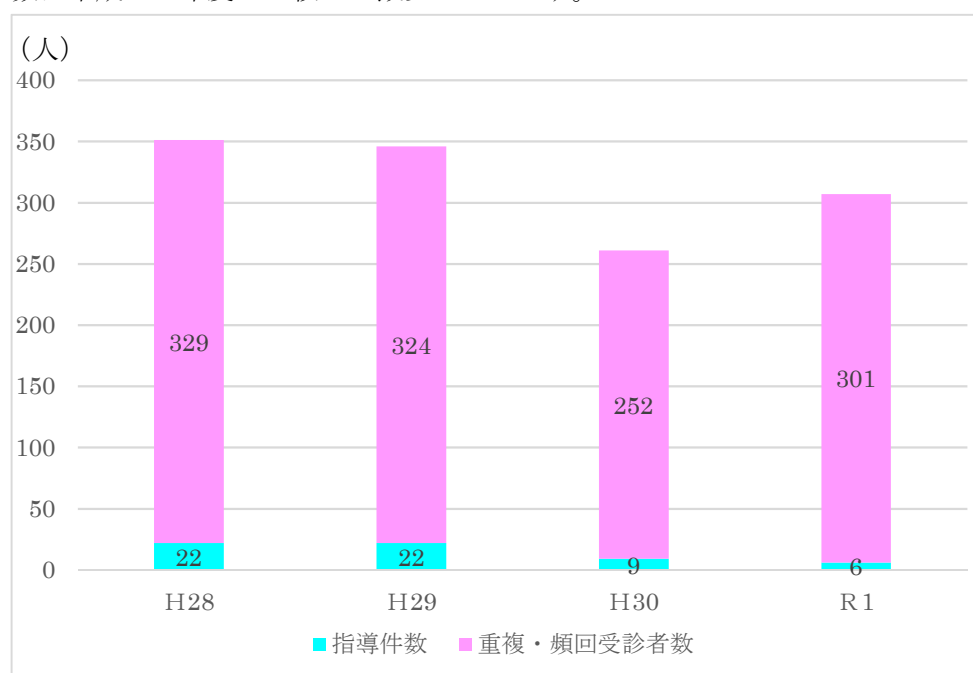
ジェネリック医薬品使用率



※国民健康保険団体連合会帳票より

(2) 重複・頻回受診者への訪問指導状況

令和元年度の重複・頻回受診者数は301人、重複・頻回受診者への指導は4件、睡眠導入剤又は向精神薬等の重複投与と思われるケースへの訪問指導は2件行いました。重複・頻回受診者数は平成28年度と比較して減少しています。



Ⅲ 第二期データヘルス計画の中間評価

データヘルス計画の中間評価

(1) 目標

- ①特定健康診査
- ②特定保健指導
- ③糖尿病性腎症重症化予防事業
- ④人間ドック利用助成事業
- ⑤ジェネリック医薬品の普及啓発
- ⑥重複・頻回受診者への訪問指導

上記の事業を積極的に展開することで、健康寿命の延伸を目指します

※本計画における健康寿命は、KDBシステムから算出される平均自立期間(要支援・要介護)の数値を用います。

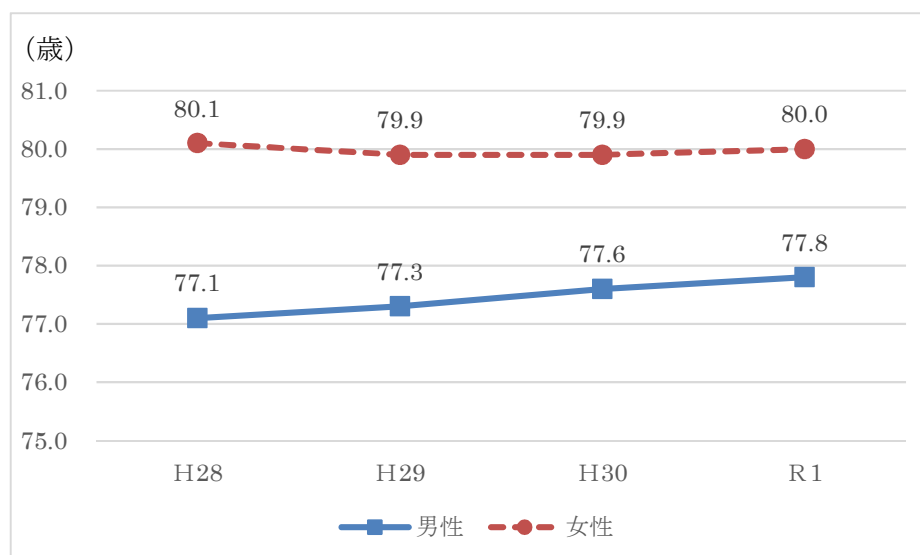
(2) 評価指標

平成28年度を基準として、令和5年度までに健康寿命の1歳延伸を目指します。

	【実績】 平成28年度 (2016年)	【目標】 令和5年度 (2023年)
男性	77.1歳	78.1歳
女性	80.1歳	81.1歳

(3) 評価

本市における健康寿命について、平成28年度から令和元年度の期間において男性は0.7歳増加しましたが、女性は0.1歳減少しました。



IV 個別保健事業の中間評価と見直し

1 個別保健事業の進捗状況

事業	成果目標	策定時	H29 年度	H30 年度	R1 年度	成果目標の
	(R5 年度)	(H28 年度)	実績	実績	実績	見直し
特定健康診査						
受診率	60.0%	28.6%	28.2%	28.9%	29.3%	40.0% ※1
新規受診者数	1,179 人	835 人	762 人	743 人	778 人	廃止 ※2
新規受診者率	16.5%	14.3%	13.7%	13.5%	14.5%	新規 ※3
特定保健指導						
終了率	60.0%	9.7%	9.0%	11.5%	10.7%	20.0% ※1
生活習慣 改善率	食事	30%	32%	64%	69%	46%
	運動	30%	35%	68%	51%	44%
糖尿病性腎症重症化予防事業						
生活習慣改善率	50.0%	11.3%	16.4%	73.3%	54.4%	70.0% ※1
新規透析患者数	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	
人間ドック利用助成事業						
基本検査受診率	7.6%	7.5%	7.2%	7.7%	7.4%	8.1% ※1
ジェネリック医薬品の普及啓発						
普及率	80.0%	59.9%	64.6%	70.1%	72.7%	
重複・頻回受診者への訪問指導						
重複・頻回受診者数	227 人	329 人	324 人	252 人	301 人	

※1 今回の中間評価・見直しで変更する成果目標値

※2 今回の中間評価・見直しで廃止する指標

※3 今回の中間評価・見直しで新たに設定する指標

2 個別保健事業の中間評価と見直し

(1) 特定健康診査

実施目的		・循環器系の生活習慣病のリスク保有者を発見し、早期予防・早期治療につなげる。	
評価	ストラクチャー	<p>【事業予算の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 <p>【関係機関との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は50ヵ所、令和元年度は51ヵ所の医療機関で健診を受診できるよう医師会や医療機関と随時調整を行いました。 <p>【特定健康診査委託基準に基づいた業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省告示に基づく基準を満たす事業者と業務委託契約を締結しました。 	
	プロセス	<p>【事業実施予定の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。また、山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業計画、個別保健事業_進捗管理表を作成し、事業の運営管理を行いました。 <p>【達成状況を踏まえた事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業事業評価シートを作成し、事業の評価を行いました。 	
	アウトプット	平成30年度	令和元年度
		<ul style="list-style-type: none"> 途中加入者への受診券送付 908件（送付率100%） 未受診者への受診勧奨ハガキの送付 15,977件（送付率100%） 	<ul style="list-style-type: none"> 途中加入者への受診券送付 921件（送付率100%） 未受診者への受診勧奨ハガキの送付 15,435件（送付率100%）
	アウトカム	平成30年度	令和元年度
<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 28.9% 新規受診者数 743人 		<ul style="list-style-type: none"> 特定健康診査受診率 29.3% 新規受診者数 778人 	
全体評価と令和3～5年度の方針		<p>未受診者への受診勧奨ハガキの送付により特定健康診査受診率が平成30年度は平成28年度よりも0.3ポイント上昇し、令和元年度は0.7ポイント上昇しました。</p> <p>今後は、さらなる受診率向上を図るため、より効果的な受診勧奨を行います。</p>	
アウトプット目標の変更		・なし	
アウトカム目標の変更		・特定健康診査受診率について、最終目標値と現状の受診率	

が乖離しているため、以下のとおり変更します。

指標	目標		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診率	35.0%	37.5%	40.0%

・新規受診者数について、特定健康診査対象者が減少傾向にあり、新規受診者数を年度間で比較するのでは新規受診者数の増減傾向が把握できないため、以下のとおり変更します。

指標 (方法)	目標		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規受診者率(総受診者のうち新規受診者の割合)	15.5%	16.0%	16.5%

(2) 特定保健指導

実施目的		<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームのリスク保有者の生活習慣病を予防するとともに生活習慣の改善を図る。 	
評価	ストラクチャー	<p>【事業予算の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 <p>【関係機関との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険部門の事務担当者と保健衛生部門の指導担当保健師（看護師）、指導委託医療機関と随時連携し、特定保健指導対象者・利用券送付時期の情報共有に努めました。 <p>【特定保健指導実施基準に基づいた業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省告示に基づく基準を満たす事業者と業務委託契約を締結しました。 	
	プロセス	<p>【事業実施予定の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。また、山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業計画、個別保健事業_進捗管理表を作成し、事業の運営管理を行いました。 <p>【達成状況を踏まえた事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業事業評価シートを作成し、事業の評価を行いました。 	
	アウトプット	平成30年度	令和元年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導未利用者への再勧奨 436件（送付率100%） ・電話・訪問勧奨者の特定保健指導実施率 64.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導未利用者への再勧奨 166件（送付率100%） ※新型コロナウイルス感染症の影響により送付件数減少 ・電話・訪問勧奨者の特定保健指導実施率 40.5%
アウトカム	平成30年度	令和元年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導終了率 11.5% ・指導後の生活習慣改善率 食事：69% 運動：51% ※指導前後で評価項目を比較することが困難なため、指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導終了率 10.7% ・指導後の生活習慣改善率 食事：46% 運動：44% ※指導前後で評価項目を比較することが困難なため、指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の 	

		割合を算出。	割合を算出。											
全体評価と 令和3～5年度の方針	<p>未利用者への再勧奨により特定保健指導の利用につながり、特定保健指導終了率が平成30年度は平成28年度よりも1.8ポイント上昇し、令和元年度は1.0ポイント上昇しました。</p> <p>今後は、さらなる終了率向上を図るため、より効果的な利用勧奨を行います。</p>													
アウトプット目標の変更	<ul style="list-style-type: none"> なし。 													
アウトカム目標の変更	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導終了率について、最終目標値と現状の終了率が乖離しているため、以下のとおり変更します。 													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">目標</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>終了率</td> <td>15.0%</td> <td>17.5%</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table>			指標	目標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	終了率	15.0%	17.5%	20.0%
	指標	目標												
		令和3年度	令和4年度	令和5年度										
終了率	15.0%	17.5%	20.0%											
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣改善率について、既存の指標（方法）での評価が困難なため、評価方法を以下のとおり変更します。 														
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標 (方法)</th> <th colspan="3">目標</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>改善率 (指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の割合。)</td> <td>30.0%</td> <td>30.0%</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>			指標 (方法)	目標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	改善率 (指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の割合。)	30.0%	30.0%	30.0%	
指標 (方法)	目標													
	令和3年度	令和4年度	令和5年度											
改善率 (指導を受けた者のうち、食事と運動の生活習慣が改善した者の割合。)	30.0%	30.0%	30.0%											

(3) 糖尿病性腎症重症化予防事業

実施目的		<ul style="list-style-type: none"> 人工透析の患者になる恐れのある被保険者に保健指導を行うことで、QOLの維持及び健康寿命の延伸の実現を図る。 	
評価	ストラクチャー	<p>【事業予算の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 <p>【関係機関との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業開始前に市医師会に協力を依頼しました。 対象者抽出後、各医療機関の主治医に直接事業内容を説明・協力依頼し、対象者の選定についても連携しました。 委託先とは随時、連絡・打ち合わせをし、事業を進めました。 	
	プロセス	<p>【事業実施予定の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。また、山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業計画、個別保健事業_進捗管理表を作成し、事業の運営管理を行いました。 <p>【達成状況を踏まえた事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> 山口県国民健康保険団体連合会保健事業支援・評価委員会が定めている個別保健事業事業評価シートを作成し、事業の評価を行いました。 	
	アウトプット	平成30年度	令和元年度
		<ul style="list-style-type: none"> 事業対象者への文書勧奨率 75人（送付率100%） 対象者事業参加者数 11人 	<ul style="list-style-type: none"> 事業対象者への文書勧奨率 100人（送付率100%） 対象者事業参加者数 19人
アウトカム	平成30年度	令和元年度	
	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導実施者の生活習慣改善率 73.3% 新規透析患者移行者数 0人 	<ul style="list-style-type: none"> 保健指導実施者の生活習慣改善率 54.4% 新規透析患者移行者数 0人 	
全体評価と 令和3～5年度の方針		<p>平成30年度に委託先を変更したことで、連携を密にとることができました。また、面談での保健指導に重点を置くことで、事業参加者と信頼関係を構築でき、指導内容の充実につながりました。</p> <p>なお、令和元年度は、平成30年度の実績を各医療機関の主治医へ説明することで、本事業の協力医療機関数を増やし、事業参加者数が平成28年度よりも9名増加しました。</p> <p>引き続き、面談での保健指導に重点を置き、内容の濃い指導で身体的指標の改善に努めていきます。</p>	
アウトプット目標の変更		<ul style="list-style-type: none"> なし 	

アウトカム目標の変更	<p>・生活習慣改善率については、平成 29 年度までの目標値の設定と実績値に乖離があり、また、より実態に即した改善率を抽出するため、平成 30 年度以降は、目標値及び評価方法を以下のとおり変更します。</p>			
	指標 (方法)	目標		
	保健指導実施者の生活習慣改善率 (指導終了者の検査値【体重、BMI、収縮期血圧、拡張期血圧、HbA1】が改善した人数の割合)	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
		70.0%	70.0%	70.0%

(4) 人間ドック利用助成事業

実施目的		<ul style="list-style-type: none"> ・費用の助成を行い、人間ドックの受診を促し、健康の保持・増進につなげる。 													
評価	ストラクチャー	<p>【事業予算の確保】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 <p>【関係機関との連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度、令和元年度ともに19カ所の医療機関で人間ドックを受診できるよう医師会や医療機関と随時調整を行いました。 													
	プロセス	<p>【事業実施の適正管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。また、実施の可否や実施可能な検査項目等について、随時実施医療機関と連絡を取り、事業の運営管理を行いました。 <p>【達成状況を踏まえた事業評価の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間終了後に、医療機関ごと、受診月ごとの受診者数を算出し、事業の評価を行いました。 													
	アウトプット	平成30年度	令和元年度												
		<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診券への人間ドック案内チラシ同封 20,118件（同封率100%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査受診券への人間ドック案内チラシ同封 19,323件（同封率100%） 												
アウトカム	平成30年度	令和元年度													
	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック基本検査受診率 7.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック基本検査受診率 7.4% 													
全体評価と令和3～5年度の方針		<p>特定健康診査受診券に人間ドック案内チラシを同封しましたが十分ではなく、人間ドック基本検査受診率が平成30年度は平成28年度よりも0.2ポイント上昇しましたが、令和元年度は0.1ポイント低下しました。</p> <p>今後は、さらなる受診率向上を図るため、より効果的な周知活動を行います。</p>													
アウトプット目標の変更		<ul style="list-style-type: none"> ・なし 													
アウトカム目標の変更		<ul style="list-style-type: none"> ・人間ドック基本検査受診率について、以下のとおり変更します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th colspan="3">目標</th> </tr> <tr> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診率</td> <td>7.5%</td> <td>7.8%</td> <td>8.1%</td> </tr> </tbody> </table>			指標	目標			令和3年度	令和4年度	令和5年度	受診率	7.5%	7.8%	8.1%
指標	目標														
	令和3年度	令和4年度	令和5年度												
受診率	7.5%	7.8%	8.1%												

(5) ジェネリック医薬品の普及啓発

実施目的		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の普及促進を行うことにより、被保険者負担の軽減や医療費適正化による医療保険財政の健全化を図る。 	
評価	ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> 【事業予算の確保】 ・平成30年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 【関係機関との連携強化】 ・県及び三師会（医師会、薬剤師会、歯科医師会）等と連携して普及啓発に努めました。 	
	プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 【事業実施予定の適正管理】 ・防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。 【達成状況を踏まえた事業評価の実施】 ・差額通知を送付し、事業委託先の山口県国民健康保険団体連合会作成の「後発医薬品切替状況及び削減効果表」により切替状況（差額通知を送付した者の切替人数や切替率、切替による削減効果等）を確認し、評価を行いました。 	
	アウトプット	平成30年度	令和元年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・希望シール・リーフレット配布率 15,673世帯（100%） ・ジェネリック医薬品差額通知発送率 2,127件（100%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望シール・リーフレット配布率 15,394世帯（100%） ・ジェネリック医薬品差額通知発送率 2,232件（100%）
	アウトカム	平成30年度	令和元年度
<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の普及率の向上 70.1% 		<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の普及率の向上 72.7% 	
全体評価と令和3～5年度の方針		<p>希望シール・リーフレットの配布、差額通知の発送、「こくほだより」等での啓発により、ジェネリック医薬品の普及率が平成30年度は平成28年度よりも10.2ポイント上昇し、令和元年度は12.8ポイント上昇しました。</p> <p>しかし、目標値である80%には達しておらず、引き続き市からの啓発を行うに加え、今後は医師会や薬剤師会等を通じて各医療機関からも被保険者に対し、ジェネリック医薬品についてさらなる周知を行っていただくよう依頼し、普及率の向上に努めます。</p>	
アウトプット目標の変更		・なし	
アウトカム目標の変更		・なし	

(6) 重複・頻回受診者への訪問指導

実施目的		<ul style="list-style-type: none"> ・ 重複・頻回受診をしている国保加入者を対象に訪問指導を行い、医療費の適正化を図る。 	
評価	ストラクチャー	<ul style="list-style-type: none"> 【事業予算の確保】 ・ 平成 30 年度、令和元年度ともに事業予算を確保しました。 【関係機関との連携強化】 ・ 薬剤師会を通じて各薬局から被保険者に対し、お薬手帳の提示を求めるよう依頼し、重複・多剤投与の防止に努めました。 	
	プロセス	<ul style="list-style-type: none"> 【事業実施予定の適正管理】 ・ 防府市国民健康保険保健事業実施計画を策定しました。 【達成状況を踏まえた事業評価の実施】 ・ 重複・頻回受診者への保健指導や受診指導は健康増進課に所属する保健師に委任しているため、訪問指導記録表により、訪問指導の状況を確認しました。 	
	アウトプット	平成 30 年度	令和元年度
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる受診者への指導件数 重複・頻回受診者：8 件 睡眠導入剤又は向精神薬等の重複投与と思われるケース：1 件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対象となる受診者への指導件数 重複・頻回受診者：4 件 睡眠導入剤又は向精神薬等の重複投与と思われるケース：2 件
アウトカム	平成 30 年度	令和元年度	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重複・頻回受診者数 252人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重複・頻回受診者数 301人 	
全体評価と令和 3～5 年度の方針		<p>重複・頻回受診者への訪問指導により重複・頻回受診者数が平成 30 年度は平成 28 年度よりも 77 人減少し、令和元年度は 28 人減少しました。</p> <p>引き続き、健康増進課と連携し、指導件数を増やして重複・頻回受診者数の減少に努めます。</p>	
アウトプット目標の変更		・なし	
アウトカム目標の変更		・なし	